

エコアクション21 環境経営レポート

美しい環境を求めて

対象期間：自 2023 年 4 月 1日
至 2024 年 3 月 31日



Protect the environment

三友油設株式会社

発行日：2024年6月28日

目 次

| | 頁 |
|-------------------------------------|---|
| I . 組織の概要と対象範囲及び許可内容 | 1 |
| II . 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容 (実施体制) | 2 |
| III . 環境経営方針 | 3 |
| IV . 環境経営目標 | 4 |
| V . 環境経営計画 | 5 |
| VI . 環境目標の実績 (達成率 評価 (○ △を含む)) | 6 |
| VII . 環境経営計画の取組結果の評価と、次年度取り組み内容 | 7 |
| VIII . 環境関連法規等の遵守評価と違反、訴訟の有無 | 8 |
| IX . 代表者による全体の評価と見直し指示 | 8 |

I. 組織の概要と対象範囲及び許可内容

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者
三友油設株式会社
代表取締役 堀田雄一郎
- (2) 所在地
〒492-8421 愛知県稲沢市高重西町46番地
- (3) 環境管理責任者及び担当者の連絡先
環境管理責任者 代表取締役 堀田雄一郎
担当・連絡者 課長 川坂 正
(Tel) 0587-32-1822 e-meil : sanyuu@air.ocn.ne.jp
- (4) 事業概要
産業廃棄物収集運搬業 特別管理産業廃棄物収集運搬業
各種タンク及びプラント清掃
地下タンク等漏洩検査
・産業廃棄物の収集運搬、各種タンク及びプラント清掃と作業後の
洗浄廃液等の収集運搬をすると共に、地下タンク等の漏洩検査を実施する。
- (5) 事業規模(2023年3月期)
設立年月日 1971年6月28日
資本金 1000万円
売上高 119百万円
従業員 7名(内1名パート)
敷地面積 601.65㎡ 床面積 89.43㎡
- (6) 事業年度 4月1日～3月31日
- (7) 認証・登録対象範囲 全組織・全活動
- (8) 施設の概要
収集運搬車両等
4t吸引車 2台
3tキャブ オーハ 1台
地下タンク等漏洩検査車 1台
- (9) 収集運搬実績
2023年度 産業廃棄物 596t
特別管理産業廃棄物 14.5t

2. 事業計画と許可内容

- (1) 事業計画
産業廃棄物の収集運搬、各種タンクプラント洗浄および清掃作業後の
洗浄廃液等の収集運搬をすると共に、地下タンク等の漏洩検査を実施する。

(2) 産業廃棄物収集運搬業許可証

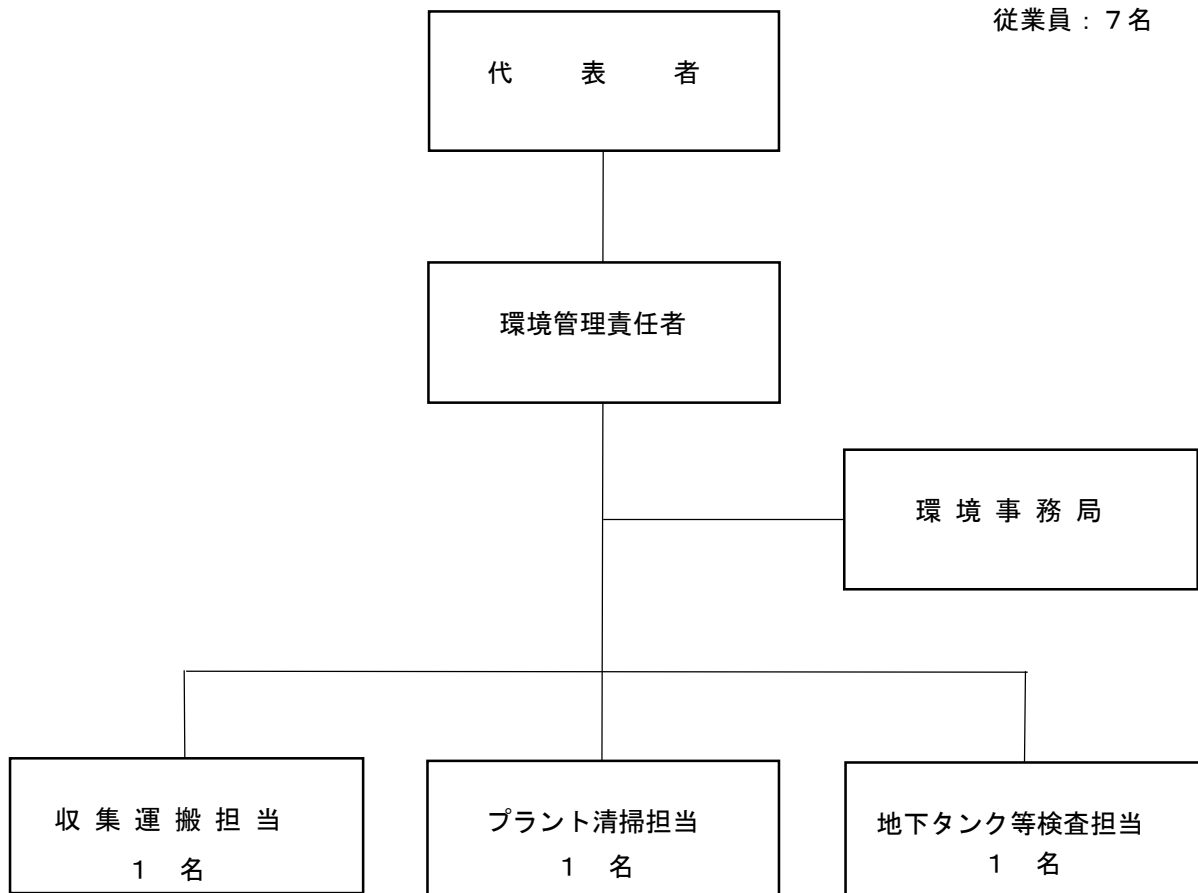
| | 許可番号 | 許可年月日 | 有効期限 | 許可品目 |
|-----|---------------|------------|------------|----------------------------|
| 愛知県 | 第02300004698号 | 令和4年3月7日 | 令和9年3月1日 | 汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類 |
| 岐阜県 | 第02100004698号 | 令和4年12月24日 | 令和9年12月23日 | 汚泥 廃油 廃アルカリ |
| 三重県 | 第02400004698号 | 令和4年12月19日 | 令和9年12月18日 | 汚泥 廃油 廃アルカリ |

(3) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証

| | 許可番号 | 許可年月日 | 有効期限 | 許可品目 |
|-----|---------------|-----------|------------|-------|
| 愛知県 | 第02350004698号 | 令和5年8月26日 | 令和10年8月25日 | 引火性廃油 |

II. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制)

環境管理実施体制 (組織図)



| 役割・責任・権限 | |
|----------------------|---|
| 代表者（社長） | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・人、設備、費用の準備 ・環境活動レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 |
| 環境事務局 (環境管理責任者兼務) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連資料の作成 ・環境活動の実績集計 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

Ⅲ. 環境経営方針

環境経営方針

《環境経営理念》

当社は、環境に優しい社会の実現に貢献するため、事業である産業廃棄物収集運搬を通じて、環境保全へ配慮した取り組みを行ってまいります。

《行動指針》

当社は、環境経営理念に基づき、以下の行動指針を定め、継続的な環境経営に努めます。

1. 環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守します。
2. 節電や各機器の省エネルギー化により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 収集運搬業務の効率化や、エコドライブの推進により、化石燃料の使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 節水に努めます。
5. 可能な範囲で事務用品のグリーン購入に努めます。
6. 会社周辺の清掃活動及び作業現場の4S(整理・整頓・清潔・清掃)に積極的に取り組みます。
7. この環境方針は、全従業員に周知し、全員参加の環境活動を行います。

制定日 2018年6月22日
三友油設株式会社
代表取締役 堀田 雄一郎

IV. 環境経営目標

環境経営目標（単年度兼中期目標）

対基準比削減率の計算と目標管理：

- ①目標設定は、基準値(使用実績値)にもとづく
- ②二酸化炭素排出量、電気、ガソリン、軽油、に関する環境目標の評価は、原単位値で行う。
- ③灯油、一般廃棄物、水は実測値を管理目標とし評価する。

| 目標項目 (原単位目標) | | 基準値 | 目 標 | | | |
|--|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------|
| | | 2017年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | |
| | | 2017年4月 ～ 2018年3月 実績 | 2023年4月 ～ 2024年3月 | 2024年4月 ～ 2025年3月 | 2025年4月 ～ 2026年3月 | |
| 目標項目 (原単位目標) | | | 5.2%削減 | 5.3%削減 | 5.4%削減 | |
| 売上金額(万円) | | 9,651 | 基準値と同額を前提とする | | | |
| 総エネルギー | 使用量 | 電力使用量の削減(kWh) | 4,643 | 4,402 | 4,397 | 4,392 |
| | | 軽油使用量の削減(ℓ) | 12,098 | 11,469 | 11,457 | 11,445 |
| | | ガソリン使用量削減(ℓ) | 2,333 | 2,212 | 2,209 | 2,207 |
| | 目標管理・評価 | 電力/売上原単位(kWh/万円) | 0.481 | 0.456 | 0.456 | 0.455 |
| | | 軽油/売上原単位(ℓ/万円) | 1.254 | 1.188 | 1.188 | 1.186 |
| | | ガソリン/売上原単位(ℓ/万円) | 0.242 | 0.229 | 0.229 | 0.229 |
| 二酸化炭素 | 合計(kg-CO2)(数値把握) | 39,338 | 37,293 | 37,253 | 37,214 | |
| | 売上原単位(kg-CO2/万円) | 4.076 | 3.864 | 3.860 | 3.856 | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物量削減(kg) | 1,000 | 948 | 947 | 946 | |
| | 産業廃棄物量削減(kg) | — | — | — | — | |
| 水使用量 | 水使用量の削減(m ³) | 361 | 342 | 342 | 342 | |
| 産廃の収集運搬に環境配慮した項目 ・運行ルートの検討 ・走行距離の短縮化 | | 実行する | 実行する | 実行する | 実行する | |
| グリーン購入推進 | | — | エコ商品の購入に努める | エコ商品の購入に努める | エコ商品の購入に努める | |

- ・二酸化炭素係数(kg-CO2)：電 気：0.480（中電2016年度 調整後）
 - ・中期目標は、基準年度の売上金額、燃料使用量による原単位で算出する。
 - ・灯油(暖房用)、LPG(厨房用)は使用量が少なく、CO2排出量への影響も少ないため、使用量把握のみとする。
 - ・産業廃棄物は廃液回収用ホースのみであり、何年か使用するため、管理目標値は設けず、発生数量把握のみとする。
- PRTR法に該当する化学物質は使用していない。

V. 環境経営計画

環境目標を達成するために次の活動計画に取り組めます。

| 環境目標 | | 活動の具体的内容 | 担当者 |
|------------------------|---------------|---|-----|
| 二酸化炭素排出量 | 電力使用量の削減 | ①照明器具は不要な点灯をなくす。 ②エアコンの設定温度を冷房28℃とする。 (冬期は使用無し) ③エアコンのフィルターの定期清掃をする。 ④PCの省電力モードを利用し使用後は電源を切る。 | 川坂 |
| | ガソリン・軽油使用量の削減 | ①アイドリングストップ ②急発進、急加速の禁止 ③定期的にタイヤの空気圧をチェックする。 ④効果的な運行ルート工夫と実践。 ⑤走行距離の記録をする。 ⑥定期的な車両整備を実施する。 | 運転手 |
| | ガス(LPG)使用量の削減 | ①適正な火力で使用する。 ②使用時間の短縮。 | 太田 |
| 一般廃棄物量の削減 | | ①ごみの分別をし資源化する。 | 川坂 |
| 上水使用量の削減 | | ①作業服洗濯時の節水に心掛ける。 ②節水シールの貼付による節水意識の向上。 | 川坂 |
| 産業廃棄物の削減 | | ①産廃物の分別をし資源化する。 | 川坂 |
| グリーン購入率の向上 | | ①購入時、エコ商品を選択する。 | 太田 |
| 受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮 | | 油を漏洩させない。 | |

* 各活動項目の実施状況は、1回/月の確認を行い、1回/4ヶ月の実施状況評価を行い対応する。

VI. 環境目標の実績（達成率 評価（○ △を含む））

1. 実績

対基準比削減率の計算と目標管理：

- ①目標設定は、基準値(使用実績値)にもとづく
- ②二酸化炭素排出量、電気、ガソリン、軽油、に関する環境目標の評価は、原単位値で行う。
- ③灯油、一般廃棄物、水は実測値を管理目標とし評価する。

| | | 基準値 | 目 標 | 実 績 | 達成率 (%) | 評 価 | |
|---|---------------------------|--------------------------------|-------------------------|-------------------------|------------|-----|---|
| | | 2017年4月 ～ 2018年3月 実 績 | 2023年4月 ～ 2024年3月 | 2023年4月 ～ 2024年3月 | | | |
| 目標項目 (原単位目標) | | 対基準値比 削 減 率 | 5.2% 削 減 | — | — | — | |
| 売上金額 (万円) | | 9,651 | 基準値と同額 | 11,968 | — | — | |
| 走行距離 (km) 軽油車 | | — | — | 57,374 | — | — | |
| 走行距離 (km) ガソリン車 | | — | — | 24,749 | — | — | |
| 総エネルギー | 使用量 | 電力使用量の削減 (kWh) | 4,643 | 4,402 | 4,333 | 102 | ○ |
| | | 軽油使用量の削減 (ℓ) | 12,098 | 11,469 | 13,236 | 87 | × |
| | | ガソリン使用量の削減 (ℓ) | 2,333 | 2,212 | 1,693 | 131 | ○ |
| | 目標管理・評価 | 電力/売上原単位 (kWh/万円) | 0.481 | 0.456 | 0.362 | 126 | ○ |
| | | 軽油/売上原単位 (ℓ/万円) | 1.254 | 1.188 | 1.106 | 107 | ○ |
| | | ガソリン/売上原単位 (ℓ/万円) | 0.242 | 0.229 | 0.141 | 162 | ○ |
| 二酸化炭素 | 対象合計 (kg-CO2) (数値把握) | 39,338 | 37,293 | 40,688 | 92 | △ | |
| | 売上原単位 (kg-CO2/万円) | 4.076 | 3.864 | 3.400 | 114 | ○ | |
| 廃棄物 | 一般廃棄物量削減 (kg) | 1,000 | 948 | 1,000 | 95 | △ | |
| | 産業廃棄物量削減 (kg) | — | — | 200 | — | — | |
| 水使用量 | 水使用量の削減 (m ³) | 361 | 342 | 279 | 123 | ○ | |
| 産廃の収集運搬に環境配慮した項目 ・ 運行ルート検討 ・ 走行距離の短縮化 | | 実行する | 実行する | 実行する | — | — | |
| グリーン購入推進 | | — | エコ商品の購入に努める | — | — | — | |

・ 二酸化炭素係数 (kg-CO2) : 電 気 : 0.480 (中電2016年度 調整後)

実績評価基準 : 達成率 = 目標値 ÷ 実測値

100%以上○ 100%未満～90%以上△ 90%未満×

PRTR法に該当する化学物質は使用していない。

VII. 環境経営計画の取組結果の評価と、次年度取り組み内容

1. 実績評価

- (1) 電力使用量の削減活動として照明器具の不要な点灯をなくしエアコン使用時のサーキュレーター併用により目標達成が出来た。
- (2) 軽油使用量の削減活動として「アイドリングストップ」「エコドライブ」を心掛け目標達成が出来た。
- (3) ガソリン使用量の削減活動としてハイブリット車を活用し、エコドライブを心掛け、目標達成が出来た。
- (4) 二酸化炭素発生量の削減活動は、削減意識が高まり目標達成出来た。
- (5) 一般廃棄物量の削減活動として、ごみの分別が徹底されず目標達成が出来なかった。
- (6) 水使用量の削減活動として、作業服洗濯時のすすぎ方法等の改善により目標達成が出来た。

2. 次年度取り組み内容

- (1) 環境経営目標
 - ・次年度の環境経営目標は昨年度の目標を継続する。
- (2) 環境経営計画
 - ・環境経営計画の活動項目も継続する。

Ⅷ. 環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反訴訟等の有無

1. 関連法規等遵守状況確認

2024. 6. 28

遵守状況確認の結果適正に対応し、遵守していることを確認しました。

川坂 正

| 適用法規 | 該当設備施設・適用内容 | 法規の要求事項 | 評価 |
|---------------------------|------------------|---------------------------------|----|
| 廃棄物処理法 | ・収集運搬業者として | 収集運搬業許可登録 | ○ |
| | | 収集運搬業許可更新・変更届出 | ○ |
| | | 帳簿の記載 | ○ |
| | | 産業廃棄物の委託契約書の作成・管理 | ○ |
| | | マニフェストの受領、回付 | ○ |
| | | 収集運搬実績の報告 (県知事へ/年1回) | ○ |
| | ・廃棄物排出者として | マニフェスト交付・保管の適正処理 (5年間保管) | ○ |
| | | マニフェスト発行状況の報告 (知事へ/年一回) | ○ |
| 家電リサイクル法 | テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機 | 買換時リサイクル料金支払い適正な引渡し | ○ |
| 自動車リサイクル法 | 吸引車・作業車・営業車 | 買換時リサイクル料金支払い適正な引渡し | ○ |
| 自動車NOxPM法 | 吸引車・作業車・営業車 | 車検時検査 | ○ |
| 浄化槽法 | 浄化槽 | 定期検査 (年一回) 保守点検及び清掃 (4ヶ月に1回) | ○ |
| 消防法 | 洗浄用灯油の使用・保管 | 規定量保管、表示、消火器の設置 | ○ |
| 県生活環境の保全に関する条例 (愛知県条例) | | アイドリングストップ | ○ |
| 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例 | 産業廃棄物の処分委託先の確認 | 1回以上/年、5年間の記録保存 | ○ |

評価基準：○遵守、一実績なし。

2. 違反訴訟の有無

訴訟、関係当局からの指摘は、過去3年間ありません。

Ⅸ. 代表者による全体の評価と見直し指示

- ・EA21への取り組みを開始して、節電、節水、エコドライブの意識が以前より高まっていると感じるが、振り返って検証すると取り組みに不十分なところも散見されるため、活動計画の更なる取り組み強化に努めて欲しい。
- ・環境経営システムのPDCAは回っていると考える。
- ・上記を踏まえ次期も、環境方針・環境目標・環境活動計画は現状の継続とし、変更の必要はないとする。

2024年6月28日

三友油設株式会社
代表取締役 堀田 雄一郎